

「西田先生はなぜ衆議院ではなく参議院議員を選ばれたのでしょうか？」

平成 30 年 5 月 16 日

●ズゴックさんからの質問

西田先生はなぜ衆議院ではなく参議員議員を選ばれたのでしょうか？人それぞれとは思いますが、現職の国会議員の方、または国会議員を目指す方が参議員か衆議院かを選択する際に、そちらを選択する明確な理由があるものなのですか？また、衆議院・参議員それぞれを目指す方の、考え方や志などで大きく異なることがあれば教えて頂きたいです。よろしく願いいたします。

●西田昌司の答え

地元の京都に戻ると「西田さん、参議院から衆議院に移ったらどうですか」といったことをよく言われたりしますが、（他の議員については知りませんが）私は国会議員になるのであれば参議員議員と最初から決めていました。

大臣になるには衆議院を選ぶ方が有利ですが、私は大臣になったり、政府側に入るつもりは全くありません。今は自民党が与党ですが、与党の中にも政府に対して毅然たる態度で糺すべきはしっかりと糺す人間が絶対に必要ですし、それが私の使命だと思っています。また、そうするには参議院にいる方がやりやすいのです。

参議院の議席をもらえば6年間の議員活動が保証されますが、一方で衆議院は最長で4年間の議員活動ができるといってもいつ解散があるかわかりませんし、常に選挙を意識していなければなりません。また、衆議院は小選挙区制ですし、党の幹部に逆らったりすれば次の選挙で公認をもらえないと

いった恐怖もあって言いたいことも言えないという側面があります（もちろん、衆議院でもしっかりと発言される先生も多いと思いますが）。また、大臣のポストを狙うことを考えたらいろいろと気遣いもするでしょう。しかし、私はポストなど全く興味がありませんし、であるからこそ誰に対しても駄目なものは駄目とはっきりとものが言えるのです。そして、そんな西田昌司がいくら目障りであっても6年間は誰も私の議席を奪うことはできません。

国会で法律を成立させるには衆議院と参議院の両方で可決しなければなりませんし、（衆議院と同様に）参議院は政府が出してきた法案を否決したり修正させたりする非常に大きな力が与えられているのです。政府側の仕事もちろん非常に重要ではありますが、政府の方針を時には軌道修正させる役割を担う参議院の仕事も同様に重要なのです。

私が今、最も糺すべきと考えているのは政府の財政規律中心主義です。財政再建など単に政府の自己目的化した目標に過ぎませんし、国民生活を守るという政治の本来の使命を全く忘れてしているのです。

これからも変わらずに自分の役割をしっかりと果たす所存ですので、どうか応援よろしく願いいたします。

反訳：ウッキーさん

Copyright：週刊西田 <http://www.shukannishida.jp>